

公民館だより なかがわ

第501号

令和6年8月1日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

参加者募集

【一般講座】

「スマホ教室」開催

第1回 9月17日(火) 10:00~12:00

「スマートフォンの基本と 防災アプリ」



第2回 10月8日(火) 10:00~12:00

「スマートフォンの基本と キャッシュレス決済」

PayPay
など

※どちらか1日のみか、両日か申込時にお伝えください。
※デモ機を使っただけの講習になりますが、お使いのスマートフォンの質問の時間も設けています。

これからスマートフォンを使いたい方も参加できます！

場 所：中川地区公民館 集会室

講 師：携帯電話会社講師

※何回も参加して
少しずつ覚えましょう！

持ち物：お使いのスマートフォン

(どの会社のiphone/android どちらも可)

飲み物、必要な方は眼鏡

対 象：中川地区民 各回 20名まで(定員になり次第受付終了)

参加費：無料 (※参加者5名未満で中止の場合あり)

中川地区ソフトボール大会

日 時：8月25日(日) 8:20~

場 所：中川地区公民館前広場

対 象：中川地区に在住する中学生以上

(※消防団員は地区民に限らない)

※地区単位でなく、個人でも申込可能です。
当日チーム編成します。

参加料：無料

※詳しくは、地区回覧チラシをご覧ください！



中川シニアクラブ 一泊研修

日 時：9月10日(火) ~ 9月11日(水)
1泊2日

場 所：中尊寺、南三陸、松島周辺

対 象：中川地区民

締切日：8月20日(火)



※詳しくは、地区回覧チラシをご覧ください！

お申込み・お問合せ：中川地区公民館 (☎679-2501)

8月・9月 行事予定



8/1(木) 市報・館報・福祉村だより
8/2(金) 三者会、会長会、公民館運営協議会
活動交付金交付式
白石上山線建設促進対策協議会
8/5(月) 福祉村運動会代表者会議
8/6(火) 一般講座「陶芸教室」
8/7(水) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)
8/9(金) 防犯協会中川支部幹事会
8/16(金) 福祉村運動会主事部・体育部合同会議
8/20(火) 上生居堀切永野開拓線建設同盟会総会
8/23(金) パソコンクラブ
8/25(日) ソフトボール大会
8/27(火) そば打ち教室
8/30(金) 市報、館報、防犯診断〈高野地区(下)〉

9/3(火) 三者会、森開公総会、会長会
9/4(水) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)
9/6(金) ウォーキング教室(職員不在時間帯あり)
福祉村運動会全体会議
9/10(火) ~11(水) 中川シニアクラブ一泊研修
9/17(火) 一般講座「第1回 スマホ教室」
9/20(金) 文化産業まつり代表者会議
9/24(火) そば打ち教室
9/27(金) パソコンクラブ
9/29(日) 少年少女球技大会

グラウンド・ゴルフ愛好会(月曜日) 8/5、19、26
詩吟教室(火曜日) 8/6、20、27
ラージピンポン愛好会(木曜日) 8/1、8、15、22、29
スポーツ麻雀愛好会(木曜日) 8/1、8、15、22、29

休館日のお知らせ

8月13日(火)、14日(水)は休館日となります。ご不便おかけいたしますが、よろしくお願いたします。

🎺 中川地区さわやかコンサート! 🎵

7月6日(土) 公民館主事部主催の「さわやかコンサート」が「山形県警察音楽隊」の演奏で開催され、多くの方に来ていただきました。1曲目の東京ディズニーランドのスプラッシュマウンテンのテーマ曲「ジッパ・ディー・ドゥー・ダー」で、カラーガード隊の笑顔あふれる演技に目を奪われました。ディズニー曲の他に、YOASOBI「三原色」、松田聖子「SWEET MEMORIES」など、また、坂本九「心の瞳」では歌も披露され会場を沸かせました。曲間には、防犯・交通安全・詐欺についての講話があり、新卒の国際ロマンス詐欺や新紙幣の詐欺について注意喚起が行われました。最後にアンコールで、ゴダイゴ「銀河鉄道999」が演奏され、充実した素敵な時間を過ごすことができました。警察音楽隊の皆さん、ありがとうございました!!



第2回 粋いき倶楽部 🎳

6月28日(金)に第2回粋いき倶楽部の健康教室「ボウリング」が山形ファミリーボウルで行われました。山田館長の始球式から始まり、6チームに分かれてスタート!!今年が初参加で久しぶりにボウリングをした会員さんもいて、最初はドキドキしながらのようでしたが、慣れてくるにつれ楽しんでいました。毎年参加している会員さんは、ハイスコア目指してプレーしていました。「楽しかった〜♪」「もっとやりたい!」との声も聞かれました。ボウリングの後は、天童最上川温泉ゆびあにて昼食をいただき、温泉で日頃の疲れを癒して、充実した一日となりました。



第3回 粋いき倶楽部

7月12日(金)に第3回粋いき倶楽部「軽スポーツ大会(モルック大会)」が行われました。モルックは、ほとんどの会員さんが体験したことがあり、皆さん最初から狙ったピンに当て、大いに盛り上がり、予定していた2回戦ではなく、3回戦の合計で上位を競い合いました。これからも、気軽にできて運動不足解消にもなるような軽スポーツを取り入れていきたいと思えます。



中川地区食生活改善推進協議会 笹巻作り反省会&研修会

7月12日(金)最上川舟運の港町として栄えた長井に行ってきました。長井ダム「百秋湖巡り」水陸両用バスで水しぶきを浴びる体験を予定していましたが、天候の影響で中止となり、長井ダム管理センター見学ツアーとなりました。初めて見るダム施設や地下、怒涛の滝を身近に見られてスリル満点!!の体験でした。お昼は農家レストラン「なごみ庵」で名物女将さんの創作料理、地元のめずらしい食材に興味津々!美味しくいただきました。フラワー長井線の楽しい方言ガイド付きの「紅花の列車」にも乗車し、貴重な「夏の日の思い出」となりました。(文:中川食改会長 吉田)



【一般講座】「多肉植物の寄せ植え教室」

7月16日(火)「東根福祉会 こすもすの家」より講師2名の方に来ていただき、一般講座「多肉植物の寄せ植え教室」が開催されました。講師の方より説明を受けた後、鮮やかな色とりどりの砂をワクワクしながら選び、箸や筆を使って上から模様をつけていきました。その後、一番上の砂を入れて多肉植物をバランスよく並べていき、霧吹きで水をかけて完成です。模様をつけるのが難しく見本のようにはいきませんが、アレンジしながら自分らしく！世界で一つだけの夏らしい素敵な寄せ植えが出来上がりました！！



ウォーキング教室 「ドッコ沼コース」

7月23日(火)第4回ウォーキング教室は蔵王温泉の「ドッコ沼コース」で開催されました。そろそろ梅雨明けが待ち通しい中で、例年になくムシムシと体感にくる暑さを和らげるために涼しい場所を求め、ゆっくりと歩いて来ました。ドッコ沼は日差しによって水の色が変化すると聞いていたので、今回はどんな色になるのか楽しみにしていざ出発へ！今回の沼の色は『深緑色』でした。周辺の木々も時より吹く風に揺れて、心地良い気分させてくれました。みなさんもこの時期だからこそ『涼』を求めて一度は行ってみたいコースですね～！



『民生児童委員』 もっとも身近な相談相手です！



民生児童委員に相談してもいいかなと思った事はありませんか？

こんな事相談しても大丈夫かなと躊躇してしまう事はありませんか？

民生児童委員は地区における身近な相談相手です。高齢者・障害のある方・子育て、介護生活の困り事などに対して必要な支援を行っています。そして、適切な関係機関との繋がりとなる役割を担っております。身分としては厚生労働大臣から民生委員法に基づいて仕事を任せられている非常勤の地方公務員という扱いです。任期は一期3年です。

また、相談内容の秘密を守ることが法律上義務づけられています。

安心して、気軽に地区の民生児童委員にご相談下さい。

お知らせ

【 敬老会について 】

今年度も、対象者の方に敬老祝い品を贈呈いたします。昨年より敬老会対象者が数え80歳以上の方となりましたので、ご理解の程宜しくお願いいたします。

なお、敬老祝い品は、9月中旬頃に各地区会から対象者の方へ届けられる予定となっております。

「昭和考、問わず語り（その42）」

甲石地区 高橋 正之

昭和七年十月、「リットン報告書」が内外に公表され、国連から満州事変は謀略との指弾を受ける中、関東軍は、昭和八年一月、大軍をもって熱河省侵攻作戦を開始します。しかしこれが後に国連脱退に発展し太平洋戦争に陥ったターニングポイントだったとされています。

〈熱河省進攻作戦がターニングポイント〉

「とめられなかった戦争」(文春文庫)は、東京大学大学院教授・加藤陽子氏が、なぜ戦争をやめることができなかったのかとの問いを、太平洋戦争の末期から日米開戦、日中戦争、満州事変へと遡りながら解説したものである。

著者は、この熱河省進攻作戦(写真)が、その後の日本の軍事的政治的な展開に重要な意味をもつターニングポイントであったと指摘する。

〈作戦のご裁可〉

熱河省は、中国がいくつかの地域を合わせて昭和三年(一九二八年)に新設した省で、現在の遼寧省・内モンゴル自治区・河北省が交わる一帯である。日本軍の作戦の目的は、熱河省に駐留していた張学良の東北軍を掃討することだった。陸軍は、熱河作戦を満州国安定のために不可欠の作戦であり、満州国内部の作戦と理解していた。その理解に立って閣議も作戦を認め、天皇自身も同八年二月四日に閑院宮参謀総長に裁可を与えてしまった。

〈ご裁可の取り消し〉

ところが同八年二月八日、斎藤実首相が血相を変えて参内し、この新たな作戦を日本軍が実施すれば、国際連盟規約に抵触するかもしれない、その場合は、除名という不名誉な結果を招く」と奏上した。前年の秋、リットン調査団の報告書を受けて、連盟では、勧告案の作成など満州問題の解決に努めている最中であつた。国際連盟規約第十六条は、そのような状態にあるときにそれを無視して、新たな「戦争に訴える同盟国は、当然、他のすべての同盟国に対し、戦争行為をなしたるものとみなす」というものである。日本が考えるように「一部」であるなら、そ

れは国内問題であつて、戦争という概念ではない。しかし熱河省は、中国の領土であると斎藤首相は考えた。その場合、すべての連盟国の敵として、通商上・金融上の経済制裁を受け、場合によっては除名されることになる。

そのことに気づいた斎藤首相は、熱河作戦を決定した閣議決定を取り消し、天皇に裁可を取り消してほしいと頼み込んだのであつた。

天皇が語った言葉は侍従武官長の奈良武次が記録している。天皇は、斎藤首相から聞いたいきさつを語っている。天皇は、斎藤首相から聞いたいきさつを語り、そしてこう告げた。

「過日参謀総長に熱河攻略は止むを得ざるものとして諒解を与え置きたるも之を取り消したし。閑院宮に伝えよ」

しかし、宮中側近や元老西園寺公望は、取り消してはならない、一度裁可したものを取り消すことは、天皇の権威を決定的に失墜させるといふのがその第一の理由であつた。取り消しとなれば、陸軍は天皇に対し公然と反抗を始めるだろうといふのが第二の理由であつた。

更に二月十一日、斎藤首相は天皇に、熱河作戦を敢行すれば国際連盟から除名される恐れがあるので、何とか中止させたが、軍部はすでに御裁可を得ていると主張して中止させられない、と苦衷を述べる。その奏上を聞いた天皇は、取り消しを求めた宮中側近に再度尋ねる。

「統帥最高命令に依り之(熱河作戦)を中止せしめ得ざるや」

しかし、天皇の裁可は取り消されることはなく、二月二十三日熱河侵攻作戦が開始されたのであつた。(とめられなかった戦争)文春文庫刊。写真は「満州帝国の興亡」新人物往来社刊より)

〈裁可取り消しが太平洋戦争回避の二つだった〉

国際連盟は、翌二月二十四日、満州国の存在を認めないとする勧告案を圧倒的多数で可決、日本は国際連盟を脱退する道を選んだのである。日本は、その後引き続き中国と対立を続け、やがて中国を支援するイギリス、ドイツ等の諸外国の支援を絶つたため、戦線を南方に拡大、やがてアメリカとの対立に発展し太平洋戦争に突入して行くことになる。

この熱河侵攻作戦裁可の取り消しは、天皇が自らの意志によってしても出来ない、軍事行動を止められないというパターンが出来たということであり、裏を返せば、この裁可取り消しが可能であつたならば、後の太平洋戦争をとめることが出来る瞬間の一つではなかったのではないかと、加藤陽子氏は指摘する。

〈当時の上山市の出来事(上山市史年表より)〉

- ・昭和八年四月五日
 - 〳 泉川の上山製乳販売購買利用組合は、明治乳業へ吸収され、製菓株式会社上山工場として開設する。
 - ・昭和八年
 - 〳 権現堂橋より権現堂を経て小倉までの道路を開鑿(かいさく)する。
 - 〳 高富町の長谷川合名会社上山分工場が上山長谷川製糸工場として独立する。

(次回は、満州国の国情について記述する予定です)

